

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀の依頼が非常に多い。その半分は火葬のみの、いわゆる直葬である。高齢で子供がいないので、連れ合いだけ、甥（おい）や姪（めい）が送るといったパターンが多い。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年と比較して、企業単位で忘年会を実施するところが、やや増加傾向にある。また、業績の良い企業は会社からの補助金が増額されており、業績好調なところがそこそこあることがうかがえる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・消費税増税から2か月過ぎ、客の気持ちも落ち着きつつある。年末と合わせて、販売量は前年をやや上回っている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は消費税増税前の駆け込みで、かなり売上は良かったが、今はやや落ち着いて多少増税の影響が出て、前年を少し割るような感じになってきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前に比べて、台風の被災関係で若干不足分が補っていたので、動きとしては余り変わっていない。若干悪くなっているような気もしないではない。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年比98%前後で推移しており、景気は変わっていないようである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・変わらないイコール少し落ち目である。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・キャッシュレス決済客は増えたが、現金払いだった客が利用しているだけで、総量は、むしろ少ない。新規利用客もみられるところから、キャッシュレス還元事業の効果はあると思うが、増加にはつながっていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・台風19号による災害と消費税増税で、10月からずっと落ち込んでいる。忘年会は多少入ったが、前年実績まではいかず、新年会の予約も余り良くない。街全体に元気がない感じで困っている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・台風19号による災害復興の特需もあったが、12月に入って特需も落ち着き、宿泊者数は前年並みである。
		タクシー運転手	販売量の動き	・12月は年間で1番良くなる月だが、中旬辺りから良いかと思っていたところ、結果的には前年比97%ぐらいで終わりそうである。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・消費税増税や台風19号の影響が節約志向が強まっており、年末だが、新規加入が少ない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・年末商戦が影響する業種ではないため、他の月と比較しても、特に大きな変動はない。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・台風19号の被害による、来場客数の減少が続いている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事が間に合わず、下請に出す物件が増えているものの、下請先も間に合わなくなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・クリスマスでもジンゲルベルが流れるわけでもなく、年末福引抽選会の看板も見当たらない寂しい年の瀬である。歳末という季節が消えた静かな街並みで、人どおりもふだんと変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・12月はボーナス月で、店の方もそれに応じて忙しくなると思っていたが、今年は「ボーナスが出た、出ない」という話もろくにないほどで、12月になっても、店の売上は良くない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・年末の雪不足でスキー、スノーボード客が全くいない。一般客も少なく、盛り上がらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・ボーナスシーズンにもかかわらず、商品の動きが悪い。発生業務も少なく、消費者の購買意欲がみられない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・降雪のない暖かい天候や祝祭日の減少、価格競争の激化で来客数、単価共に厳しい。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・消費税増税後は、競合店のチラシ回数も増加し、価格競争が激化している。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・スピードスケート取材で放送局から4日間注文を受け、運送会社から引越しの弁当の注文を5日間受けたため、増収にはなっている。12月25日までの売上は前年比5%増だが、来客数は8%減である。前年まではこんなことはなかった。	

	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・製造業の方の話では、やはり少し落ちているということで、現状維持は厳しいのではないかと。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・台風19号に関する災害での自粛なのか、クリスマス需要が期待外れに終わっている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・クリスマスの来客数は伸びず、販売にもつながっていない。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べて、来客数、売上共に減少している。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両の整備、販売共、目標を下回る状況である。いまだに消費税増税の影響が売上にしている。
	高級レストラン（経営者）	それ以外	・台風19号の被害による自粛機運が、いまだに続いているようで、忘年会の数が少なくなっている。外食や飲み歩く機会が少なくなっている。
	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・台風19号の災害がひどく、周辺でも旅行、イベント等は自粛ムードである。企業や個人を含めた出張やインセンティブの旅行などが少ない。いまだに稼働していない企業も多く、被災の影響による景気悪化が続いている。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・ウィンターシーズンに入ったが、雪不足のため近隣スキー場の大半がオープンできていない。それに伴い、宿泊施設をはじめ、納入業者にまで影響が及んでいる。
	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・積雪によるクローズが1度発生したが、全日ともに、通年の予約状況である。いずれもシニア層が多く、客単価が伸びない。
	その他レジャー施設「ボウリング場」（経営者）	来客数の動き	・年末年始に向けて出費を控えているのか、来客数、売上共に伸びていない。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客が買い控え、冬物を作る予定を取りやめたなどの話をしている。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税後の反動により、新車販売台数が大きく落ち込んでいる。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、景気がどうなっているのか、全然見当がつかない。競争相手や客の動きも心配になるが、全く分からず、うるたえている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月から引き続き、フリー客の来客数が大幅に落ち込んでいる。明らかに消費税増税時から落ち込んで、回復しない状況が続いている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・法人利用の一般忘年会が、周辺施設も含め、軒並み全て減少している。当ホテルでも、前年比20%ほど落としてしまっている。
企業動向関連 (甲信越)	-	-	-
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・目標の売上は達成できそうだが、商売の季節性もあり、判断を下すには、もう少し時間が必要である。
	出版・印刷・関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年賀の時期だったが、受注量が前年の1割減くらいになっている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の年末商材の受注はあったものの、店頭一般商材への受注は低迷している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響は、それほど出ていないようである。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・富士五湖周辺では、アジア周辺からの観光客が堅調に推移している。しかし、多くの大手ホテルチェーンの進出により、地元ホテルの宿泊客が大手に流れており、観光客は増加傾向であるものの、景気自体は変わらない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が落ちたまま、12月になっている。取引業者でも好景気と話すところはない。
	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・同業者の倒産で仕事は入ったものの、既存店の販売点数は減る一方で厳しく、合算してもとんとんである。
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響がじわじわと効いてきている。受注量が減少し、工場見学者数の減少によって売店売上も減少している。

	その他製造業 [宝石・貴金 属] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・歳末セールが12月半ばから始まっている。小売店の中には、「今月は思いのほか売れた」という店も何軒もあった。しかし、卸売では委託依頼がほとんどで、仕入れにつながらない。11月の受注分が今月納品されることから、売上としては前年並みである。	
	金融業 (調査担 当)	取引先の様子	・製造業は米中貿易摩擦の影響、非製造業は消費税増税や台風19号の影響が重なり、景況感が落ち込んでいる。	
	×	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注予定の物が保留や先延ばしになることが多いため、悪くなっている。
雇用 関連	-	-	-	
(甲信越)	-	-	-	
	求人情報誌製作 会社 (経営者)	周辺企業の様子	・12月の求人募集広告は、正社員募集が特に少なく、パート、アルバイトも例年より募集が少ない。これまで募集広告を出してもほとんど応募がなかった地元の飲食店が、年末年始～春に向けパートが特に必要となるため、初めてWebで募集をしたところ、今までにない約40名と面接をし、12月の1か月で10数名採用できている。	
	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・台風19号による被害の影響で、毎年恒例の年末年始行事が取りやめとなり、クリスマスソングを流しているところは少ない状況で、やや悪くなっている。	
	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・当所の主要産業である製造業及び第3次産業のサービス、卸売、小売業の求人減少が、相変わらず継続している。また、他の職種も微減と、全体的に減少している。	
	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・全体的に求人は減少傾向にあるが、堅調だった食品製造業の求人も減少してきている。食品の多くは軽減税率の対象だが、他の出費増による家計への圧迫が、高額商材でない食品にまで及び、スーパーやコンビニの売上も減少し、どの求人も減少傾向にある。	
	×	-	-	-